

JAからのおたより

私たちは TPP に
日本が参加することに断固反対します



ごとう



2012
国際協同組合年

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES



10月号

JA ごとう

2012 No. 80

第10回
全国和牛能力共進会
長崎県大会

2012年
10月25日(土) ▶ 29日(月)



TOP NEWS!!

いよいよ開幕！
全国和牛能力共進会 特集

CONTENTS 目次



- 2p
・ CONTENTS
・ 表紙 PHOTO 紹介
・ 平成24年度 第5回理事会（平成24年8月31日 開催）
- 3p
太陽と緑 五島がうまいの立役者
- 4p
TOP NEWS
ー全国和牛能力共進会 直前特集ー
- 6p
今月のスポット
- 8p
女性部の活動
- 9p
青年部の活動
- 10p
産直市場 **五島がうまい**・直送便
- 11p
・ 営農情報提供システム利用説明会
・ JA 共済スマイルサポーターロールプレイング大会
・ 平成24年度人事異動（臨時）
・ 旅行センターからのお知らせ
・ 産直市場 **五島がうまい**・
・ (株) JA ごとう葬祭斎場 浄倫会館
・ 編集後記
- 12p



上段左から順に

- ・ 女性部レクリエーション大会（9月15日）
- ・ 平成24年9月せり市（9月13日）
- ・ 年金友の会富江支部ペタンク大会（9月18日）
- ・ 大津高菜加工所 加工用キュウリ作業風景（9月13日）
- ・ JA 共済小・中学生書道コンクール審査会（9月10日）
- ・ 青年部親睦スポーツ大会（9月8日）

平成二十四年度 第五回理事会

（平成二十四年八月三十一日 開催）

1、報告事項

- 報告 No. 1 主な事業経過と行事予定について
- 報告 No. 2 主要事業七月末計画と実績について
- 報告 No. 3 「産直市場五島がうまい」七月末実績について
- 報告 No. 4 農産物の仮渡金（早期米、春南瓜）について
- 報告 No. 5 平成二十四年七月～八月期県内家畜市場市況について
- 報告 No. 6 のうきよう五島油槽所開放検査及び補修工事の入札結果について
- 報告 No. 7 内部監査の品質評価結果について
- 報告 No. 8 貸付金の実行について

その他

- ① 第十回全国和牛能力共進会 長崎県大会の参観について

2、議案事項

- 議案 No. 1 固定資産（大浜農業倉庫及び給油所無償譲渡）の処分について【継続審議】
- 議案 No. 2 固定資産（上五島支店空調設備更新）の取得について【可決】
- 議案 No. 3 貸付金の審査について【可決】

その他

麗宝展

日時 10月20日(土) 10時～18時

10月21日(日) 10時～17時

場所 JAごとう本店2階 特設会場

お問い合わせは…

JAごとう経済部 0959(72)6585

またはJAごとう各支店・出張所まで

太陽と緑

五島がうまい の 立役者

NO. 29

子どもたちに
おいしい野菜を

五島市三井楽町浜窄

吉谷 豊次さん(68)

のをきっかけに再び農業を始められました。

当初は悠々自適に「趣味の園芸」ができれば良いと考えていた吉谷さん。しかし、現在では三井楽を代表する果菜類農家になっています。

親から受け継いだ宝

昔はトマトやキュウリのハウス栽培



吉谷さんは現在、ソラマメ（唐比の春）、レタス、ナス、カボチャ（こふき）などを栽培しています。

趣味のつもりが...

吉谷さんが農業を始めたきっかけは両親の手伝いを行っていたため、学校を卒業後、三井楽で十年間農業をしていましたが、その後二十七年間大阪で働き、子育てが一段落した



霜害が多くなる時期なので、いろいろ対策を考えるそうです。

子どもたちのために

吉谷さんは直売所の他にも給食センターなどにも野菜を出荷しているということ。「必要最低限の農業は散布しなければならぬが、子どもたちが口にするもので、その中で良い品物を作っていければ」と語って頂きました。

数年前までは長崎市内から中学生の農業体験の受け入れを行い、食農教育にも熱心な吉谷さん。今後は体と相談しながら、現状維持が目標と言っていました。深ねぎなどの栽培も行っていたとのこと、これからもおいしい野菜を子どもたちに届けてほしいと思いました。

培を行っていた吉谷さんですが、その時苦労した経験もあり、現在は昔ながらの露地栽培で野菜の生産を行っています。数多くの野菜を栽培しているのは、昔小売りを行っていた名残ということでした。

特に親の代から五十年作り続けているスイカは自慢の一品で、四〇㍗で栽培し、今年もたくさん出荷されたそうです。

三井楽の特性を活かして

「三井楽は灌水の面で毎年苦労するが、今年は雨が多くて助かっている」と話した吉谷さん。天候とうまく付き合っていけるかが重要であると語って頂きました。台風の際も圃場の周りの防風林のおかげで被害も少なかったと言います。これからは



第10回 全国和牛能力共進会



第10回
全国和牛能力共進会
長崎県大会
2012年
10月25日(土) 29日(月)



- ◆佐世保メイン会場：ハウステンボス
- ◆島原会場：島原復興アリーナ
- ◆肉牛の部会場：佐世保市食肉地方卸売市場

全共に向け仕上がりは順調!地元開催で旋風を巻き起こす!!



当JA畜産事業所で九月十九日、全共出品牛の集合手入れが行われました。

今回は参加者全員で栄養度チェックを行った後、今後の飼養管理について講評を行い、残り一ヶ月となった大会本番までの対策を入念に話し合いました。

管内からは第二区に「はるえ2」号、第四区に「ともこ」号、「第5いわお」号、「いくこ」号、「はるみ」号の計五頭が出品される予定。

全国和牛登録協会長崎県支部の毛利卓副支部長は「五島から出品される関係者の方々が努力しているのがよく分かった。他の地域の代表牛と比べても遜色ない仕上がりなので、残り一ヶ月も精一杯頑張ってもらいたい」と述べました。

当JAでは今後も巡回調査などを行い、大会本番に向け出品牛の飼養管理をサポートしていきます。
(日本農業新聞九月二十七日掲載)



9月せり市成績表

性別	売却 (頭)	落札価格 (円)	最高価格 (円)	平均価格 (円)	kg単価 (円)	平均体重 (kg)	前回比 (%)
メス	227	80,059,000	595,350	370,317	1,409	263	97.0
去勢	289	123,144,000	695,100	447,409	1,601	280	97.7
合計	516	203,203,000	695,100	413,494	1,519	272	98.1

いよいよ本番！ せりにも熱気

—2012年9月せり市—



2012年9月せり市

当JAは九月十三・十四日の両日、五島家畜市場で九月期せり市を開催。一九〇戸の畜産農家が子牛五一六頭、成牛四八頭、計五六四頭の黒毛和種を上場しました。

開催にあたり中尾弘一組合長は「今回のせりにもたくさんのお客さんがいらっしゃいます。枝肉相場の方々に、低迷や燃料・飼料の高止まりなど、依然畜産を取り巻く環境は厳しいが、来月二十五日から全長崎県大会において弾みがつくような取引を期待している」と挨拶。

また、野口市太郎五島市長も訪れ「農林水産業の振興を公約にしているが、その中でも生産額の大きなウエイトを占めるのが肉用牛。今後JAごとと協力しながら繁殖雌牛五、〇〇〇頭達成へ向け、市としてもバックアップしたい」と生産者を激励しました。

子牛五一六頭の平均取引価格は四一・三、四九四円（前回比一・九割安）、成牛四八頭の平均取引価格は一三六、一七二円（前回比一五・一割安）となりました。

またJAごと畜産担当者は「五島肉用牛大学の開校により、今後も質の向上を図り、高価格の維持に努めるとともに、五島牛の全長崎県大会での上位入賞を目指したい」と話しました。（日本農業新聞九月二十日掲載）

五島牛の飼養管理徹底に向けて

—第4回五島肉用牛大学—



講義を行う早田技師

JAごと畜産市場で九月二十日、五島肉用牛大学の講義が行われました。今回で四回目ということもあり、講義終了後には多くの質問が見られました。

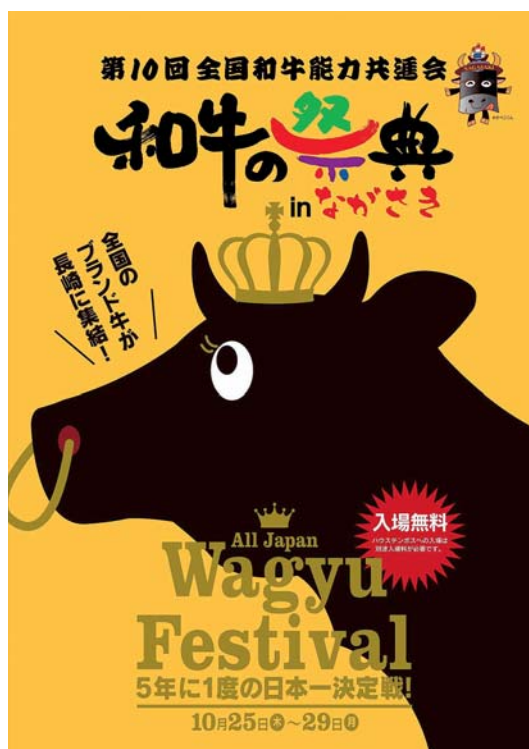
五島振興局、JAごと畜産者などおよそ一〇〇名が参加。一時間目の講義として「飼料作物圃場の土壌分析と飼料作物の土壌振興局地域普及課の早田剛技師が、二時間目には「飼養衛生管理基準について」と題して五島家畜保健衛生所の藤井猪一郎係長が講義を行いました。

一時間目では、自給飼料生産を行う上での土壌分析の重要性や、刈取時期による栄養度の違いなどを講義。

二時間目は二〇一〇年に宮崎県で発生した口蹄疫の防除作業の様子を上映後、実際に現地でのボランティアとして活動した経験に基づき、飼養衛生管理基準徹底の重要性について講義しました。

講義終了後の質問コーナーでは「自分で生産している飼料作物の栄養価はどれくらいか」などの質問が飛び出し、中には新たな品種に取り組みたいと話する生産者も。

同大学事務局では今後も毎月第三木曜日に講義を行います。家族経営が多い地域性を考え、今後は家族単位での受講を呼び掛けていきます。



開催期間・場所

佐世保メイン会場

2012. ④ ⑤
10月25日 ▶ 29日
ハウステンボス(佐世保市)

島原会場

2012. ⑥ ⑦
10月26日 ▶ 28日
島原復興アリーナ(島原市)

肉牛の部会場

審査会場

佐世保市
食肉地方卸売市場

せり会場

2012.10月28日(日)
佐世保市体育文化館



プレーを楽しむ参加者

▽結果は以下のとおり。優勝：若松A（若松支部）
準優勝：籠淵（福江支部）
第三位：浜友会（上五島支部）
敢闘賞：矢堅目（上五島支部）

青空のもととはつらっプレー

－年金友の会ゲートボール大会－

当JA年金友の会は九月二十四日、五島市大津みなと公園で第十回年金友の会ゲートボール大会を開催。大会には昨年のおよそ二倍となる二七チーム、約一五〇名が参加しました。

開催にあたり、三井楽支部楽遊会チームの松本清人さんが「日頃鍛えた精神と体力で一日楽しく競技することを誓います」と選手宣誓。

今回、八五歳以上の選手が一四名出場し、開会式で記念品が授与されました。出場選手最高齢の奥浦支部奥浦チームの江口タネさん（九十三）が紹介されると一斉に拍手が起きました。試合はトーナメント形式で行われ、予選を勝ち抜いた八チームが決勝トーナメントへ。

同大会は会員同士の親睦と健康増進を目的に毎年実施。峯脇達郎年金友の会会長は「会員の皆さんは毎年この大会を楽しみにしている。五島は上・下地区と海で分かれているので、こういった機会を設けてもらうことで親睦を深められる」と話しました。

2トンの増の122トンの販売を目指す

－2012年度五島ルビー収穫－



手入れを行う野口さん

当JAでは管内を代表する特産品「五島ルビー」の出荷がいよいよスタート。管内では昨年並みの作付面積となっているものの、病害虫防除を徹底することで単収の向上を図り、昨年産よりも二・一トンの増の販売量一二二トンを目指しています。

今年産五島ルビーは、九戸の農家が華クイン二二[㍻]、華おとめ一三四[㍻]で栽培。本年産は七月二十八日から定植を始め、八月下旬には定植を終えました。また、台風が上陸したものの、ハウスへの被害は少なく生育は順調。出荷は九月十二日から始まりました。五島ルビー栽培農家の野口順平さん（五島市富江町）は「病害虫の防除を徹底し、昨年よりも収量を伸ばしたい。個人的には一〇[㍻]あたり八ト以上の出荷を目指す」と話しています。

「五島ルビー」は銘柄の確立と高品質の維持を目的に、一昨年八月下旬に商標登録を行った当JAの人気商品。輝くような鮮紅色で糖度が高く、酸味が少ない中玉トマトで京阪神地方を中心に出荷しています。当JAでは今後も適期収穫と選果選別を徹底し、高糖度トマト「五島ルビー」の更なる銘柄確立を図ります。
（日本農業新聞九月二十九日掲載）

市場への安定供給を目指して

－2012年秋冬ブロッコリー播種－



播種を行う作業員

当JA管内では二〇一二年産秋冬ブロッコリーの播種が八月二十日から十月六日にかけて行われました。

当JAではブロッコリーを主力作物の一つと位置付けており、農畜産物販売高四一億円の年間計画の必達に向け、欠かせないものとなっています。

八月二十三日には同JA富江集荷所（五島市富江町）にて担当職員など約十名が参加し、作業が行われた。管内の昨年産の秋冬ブロッコリーの栽培面積は五四[㍻]で、氷詰め出荷の定着により出荷量、面積ともに増加しています。

本年産も、昨年と同様地域の特性に合わせた品種を選定し栽培。JA担当職員は今年産の秋冬ブロッコリーについて「市場からも五島のブロッコリーは好評価を受けている。今後は品質の管理と、収量の少ない時期における出荷体制の整備を行い、安定供給を目指したい」と述べました。
（日本農業新聞九月十九日掲載）



部会発足で更なる飛躍へ

—高菜部会 役員総会—

当JAは九月五日、本店にて高菜部会役員総会を開きました。

栽培面積が二〇〇八年度の四、四四八㌥から今年度の計画ではおよそ二倍の八、五〇〇㌥を計画しており、管内の特産品として栽培面積の拡大が続いている高菜を、今回部会を結成することで、管内一丸となつて二〇一三年度中の特別栽培農産物認証を目指します。

会議にはJA担当職員、部会役員など約二〇名が参加。部会結成に基づく役員選出や二〇一二年産の生産計画などについて協議が行われました。初年度の部会員数は一〇三名。

開会の挨拶で中尾弘一組合長は「高菜はタバコに代わる作物として急速に栽培面積が拡大。農家所得の向上を最大の目的として、今年度中のエコ

ファーマー認証、来年度中の特別栽培農産物認証を目指し、安心・安全な五島産高菜をさらにPRしたい」と述べました。
(日本農業新聞九月二十二日掲載)

五島農業のモデルケースに

—加工用キュウリ530ト^ン生産—



塩蔵キュウリのカット作業

JAごとう管内では二〇一二年産の加工用のキュウリのカット作業が始まりました。

昨年度は加工用として三六八ト^ン余りのキュウリを生産、管内二ヶ所の加工所で一次加工の塩漬けを行い、契約先への出荷を行っています。今年度はそれを上回る五三〇ト^ンのキュウリを塩蔵しており、契約先の需要も多く、来年以降もさらに生産量が伸びる見通しです。

JA担当職員は「今年はキュウリが豊作だったこともあり、来年七月頃まで作業が続く予定。今後も契約先が求める品質と量を加工できれば」と話しました。

元々、ソラマメの後作として普及してきたキュウリですが、一次加工を施すことで、付加価値を付けて販売することができます。また、十一月からは高菜の漬け込み作業が始まる予定で、加工所は活気を見えています。

ペタンク大会 距離感縮める

—年金友の会 富江支部ペタンク大会—



当JA年金友の会富江支部は九月二十日、富江緑地公園（五島市富江町）で第二回年金友の会富江支部ペタンク大会を開きました。大会には約七〇名が参加し、大変盛り上がりしました。同大会は気軽にできる高齢者向けスポーツとしての「ペタンク」を通して、健康の保持増進と生きがいの高揚を図ることを目的に、同支部が主催で行っています。

富江支店の小原豊支店長は「年金の振込など日頃からJAをご利用頂き、JAを地域のよきところとしてこれからの生活に役立てて頂きたい」と挨拶し、新たな会員の加入を呼びかけました。今後もJAではこうした地域の活動に積極的に参加することで、地域住民との交流を図り、地域に貢献していく方針です。
(日本農業新聞九月二十五日掲載)



がんばらば体操で親睦の輪

—女性部レクリエーション大会—



女性部は9月15日、五島市市民体育館にてレクリエーション大会を開きました。大会には約150名が参加し、参加者たちは日常の忙しさから解放され、仲間との交流を楽しみました。この大会は部員が一堂に会することで各支部間の交流を図り、女性部全体の団結力を高めることが目的で2年に一度開催されています。

大会には五島市役所から3名の職員を講師として招き、がんばらば体操を行いました。参加者たちは笑顔で仲間たちと振付をマスターしていました。

昼食後は2人でサンドイッチや借り物競走などの催しを行い、終始笑顔で部員同士の親睦を深めました。また、液晶テレビなどの豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会も行われました。

大会を終えた参加者からは「今日は楽しかった。女性部に入っていてよかった」という声が多く聞かれました。

今後も女性部はこのような活動を通して、各支部間の結束を固め、魅力ある活動を行うことで、部員数の増加に努める方針です。



笑顔溢れる一日に

—はまゆう部会富江支部ミニデー—

当JA女性部はまゆう部会は九月二十五日、富江支店でミニデイサービスを実施。七月二十四日の大浜地区ミニデイサービスに続き、今年度二回目の開催となりました。頭の体操や演芸コーナーなど、参加者の笑い声が飛び交う賑やかな時間となりました。

今回は部員、年金友の会会員など約七五名が参加。開催にあたり同会の片山染子部会長は「富江地区のミニデイは五回目。同地区は毎回出席率が高く、部会員一同楽しみにしている。一日楽しんでもらい、明日への活力にして頂きたい」と話しました。

恒例の頭の体操に加え、使用済みののがきを再利用した鍋敷き作りなどを行い、参加者たちは充実した時間を過ごしました。また、

レクリエーションの演芸コーナーでは、日頃練習している踊りやカラオケなどを披露。参加者から歓声が起きました。同部会ではこのような活動を積極的に行うことで、助け合い組織としての役割を果たしていく方針です。



手に汗握る熱戦の数々！

－青年部親睦スポーツ大会－



大会成績

【男子の部】

優勝	本山支部
準優勝	西部支部
3位	富江支部

【女子の部】

優勝	五島市役所
準優勝	女性部
3位	JAごとう

【個人表彰】

MVP	山口 源二(本山)
敢闘賞	古井 泰信(富江)
ユーモア賞	谷川 栄子(市役所)

当JA青年部は九月八日、五島市中央公園市民体育館で親睦スポーツ大会を開きました。同大会には青年部、女性部、市役所職員など約一〇〇名が参加。各地区や職場ごとに分かれ、男子八チーム、女子三チームがソフトバレーボールで白熱した戦いを繰り広げました。

また、今回は嫁不足に悩む部会員と独身女性との交流の場としても企画され、大会終了後は五島牛や地元産野菜をふんだんに使用した焼肉で親睦を深めました。

青年部の新井真二郎部長は「今年度は競技をソフトバレーボールにしたことで、女性とも交流戦を行うことができた。今回の大会が独身の青年部員にとって、婚活の良いきっかけになれば」と話しました。

青年部では今後も婚活イベントをはじめ、女性部・関係機関との交流などを積極的に行う計画です。

(日本農業新聞九月十五日掲載)

接客力向上へ ードライブウェイ サービス競技会ー



全農長崎県本部は九月二十三日、JA長崎せいひの大串給油所で第三十六回ドライブウェイサービス競技会を開催。JAごとうからは三名が出場し、日頃のスキルを披露しました。

当JA経済担当者は「入賞には至らなかったが、他JAのサービスなどを見て勉強になったと思う。今後より一層のサービス向上に努めてほしい」と話しました。

JAごとう出場者は以下の通り……氏名(所属)
▽増田哲(西部SS)▽山田敏明(SS本店)▽中村伸和(富江SS)

秀作が勢揃いー書道コンクールー

九月十日、富江支店でJA共済小・中学生書道コンクール審査会を実施。



今年度は管内の小学校三三校、中学校一八校が作品を出品。半紙三、七三三点、条福二一四点の計三、九四七点の作品が集まりました。

審査員の一人は「どの作品も良く書けており、日頃の練習の成果が出ていた。来年少以降もたくさん作品を見てみたい」と話しました。

(日本農業新聞九月十三日掲載)



産直市場

五島がうまい・直送便

pickup! 五島ルビー

出荷がスタート!

「五島ルビー」は糖度が高く、酸味が少ないトマトです。輝くような鮮紅色で、皮までおいしく食べることができるのが特徴。



色で、皮までおいしく食べることができるのが特徴。

ぜひ、ご賞味ください!

秋の収穫大感謝祭

10月

27日(土)・28日(日)

・催事内容(予定)・

- ・農産物特売 (新米・かんしょ他)
- ・新米試食会 ・精肉特売
- ・地元産野菜の詰め放題
- ・じゃんけん大会 など

ぜひ、産直市場 五島がうまいに
ご来店ください!

たべてみんね



本山支部 園山 吉弥さん

葉タバコを廃作し、今年度よりパブリカ栽培に取り組みました。初めての作物に戸惑いながらも、少しずつ成果が見えた矢先の台風被害に意気消沈しました。

しかし、関係機関や農協職員の親切的な指導、部会の仲間にも助けられ次へと切り替えることができました。直売所でも好評頂き、大変嬉しく思っております。残りわずかの出荷ですがよろしくお願いします。



崎山支部 山内 清一さん

私は主に、キャベツや小麦粉、バレイショなどを出荷しています。「五島がうまい」では消費者の方と直にお話ができて、出荷した商品が「おいしかった」と言ってもらえると、とても励みになります。

12月からは自慢のバレイショも店頭に並ぶ予定です。よろしくお願いします。

椿の実 は J A ごと うへ!

J A ごと うでは、組合員の皆様が採取した椿の実の買い取りや委託搾油を11月から行います。

- ・ 椿の実の買い取りに関するお問い合わせは...

J A ごと う農産園芸部 0959-72-6214
または J A ごと う各支店・出張所まで

A コープ 浦桑店 出荷者募集中!



地元産をおいしく食べて地産地消!

地場産品コーナーに

あなたの農作物を出荷してみませんか?

五島産農産物なら少量でも OK!

出荷品目など、お問い合わせは...

J A ごと う A コープ 浦桑店 0959-54-2500

J A ごと う 上五島支店 0959-52-2077



説明を受ける担当職員

藤井グループ長は「今回導入した電子端末は全国でおよそ二、〇〇〇台が稼働している。肥料・農薬の情報だけでなく、郷土料理の情報なども閲覧することができ、直売所などとも連携して活用してもらえれば」と話しました。

病害虫対策は JA グリーンへ

ー営農情報提供システム導入ー

当JAは九月十二日、JAグリーン（五島市籠淵町）において新規導入する電子端末の説明会を開きました。

同端末は担当職員の営農に関する知識の向上を目的としています。また、タッチパネル方式の端末を導入することにより、より多くの組合員に利用してもらい同店舗の来店頻度を向上させることがねらいです。

説明会には担当職員など約一〇名が参加。農山漁村文化協会の藤井宏一グループ長より端末の使用方法について実物を用いた形で説明を受けました。

代表の大瀬良さん優勝！

ーJA 共済ロールプレイング大会ー



最優秀賞に輝いた大瀬良さん（前列中央）

JA共済連長崎は、長崎県JA会館で第三回JA共済スマイルサポーターロールプレイング大会を開き、当JAの大瀬良真紀さん（新魚目支店）が最優秀賞を受賞しました。JA自動車共済の担当者やスマイルサポーターの窓口対応における提案力・コミュニケーション能力向上が目的。

県下7JAから選ばれた代表者が出場して行われた今大会では、家庭用自動車共済「クルマスター」へのグレードアップ推進の場面の想定し、お客様への保障の充実を図るための提案力など技量・技術を競いました。

当JAの小賀共済部長は「受賞は日々の窓口業務を行っている成果であり、他のスマイルサポーターも次回受賞できるよう日々の努力を望みます」と語りました。

（日本農業新聞九月二十五日掲載）

平成24年度 人事異動(臨時)

平成24年9月1日に人事異動が発令しましたので、お知らせします。

新 任		氏 名	旧 任	
所 属	役 職		所 属	役 職
平成24年 8 月31日付				
	依願退職	松田真知子	福江支店	管理金融課（共済）
平成24年 9 月 1 日 発令				
福江支店	管理金融課（共済）	入口 音枝	崎山支店	管理金融課
崎山支店	管理金融課（臨時）	山下はるみ	本店直売部	Aコープ崎山店（パート）
平成24年 9 月 1 日 採用				
本店直売部	Aコープ崎山（パート）	門口 ゆい		

旅行センター からのお知らせ



第10回全国和牛能力共進会

島原会場へ行こう!

島原半島ジオパーク 日帰りバスツアー

「和牛の祭典inながさき」へお越しの際は、
佐世保メイン会場と島原会場を結ぶ日帰りバスツアーでお楽しみください。

この機会にぜひ、ご参加ください。

島原城
島原城は松島藩主松平将政が、元和4年(1618)一帯の改修を命じた。明治維新により解体されましたが復元を求め、39年に「天守閣」が完成し、昭和47年に「天守閣」が復元されました。

武家屋敷
城下の風景を色濃くとどめる武家屋敷。一般公開されている山本邸、後藤邸、松田邸では資料が見学できます。

佐世保メイン会場(ハウススタンプス)

雲仙岳災害記念館
大迫力のドーム型スクリーンで火山の雄姿を体験できる「雲仙大噴火」の映像を、火山の噴火について11のシーンに分けて展示しています。見て触れてリアルに体験しながら、わかりやすく学習できる日本でも唯一の火山体験ミュージアムです。

現地ガイドの説明付き

講早湾干拓堤防道路
約5kmある干拓堤防道路の中間地帯には、市街地と開拓地を繋ぐ風景歩道橋が設置されています。高来町深津(ふかのみ)の広大な自然干拓地「アサリゾーン」では、秋はコスモスも咲き誇り、コスモスまつりも開催されます。

国立公園 雲仙
昭和9年に日本最初の国立公園に指定されました。野鳥や高山植物の宝庫です。雲仙岳はキリシタン殉教の舞台となったところ。30あまりの地蔵があり、噴気孔から真っ白な水蒸気もくもくと吹き上がっています。

スケジュール ○＝下車観光

佐世保メイン会場 ———— 東そのぎIC

——— 講早IC ———— ○講早湾干拓堤防道路

＝ 島原城(車窓)＝ ○武家屋敷町並み＝ 島原市内で昼食

＝ **○全共島原会場(島原復興アリーナ)・雲仙岳災害記念館**

各館の自由見学となります。(12:30～14:00) 入館料は別途必要です。(12:30～)

(注) 島原会場でのイベントにより出発時間、コース内容が変更になる場合があります。

雲仙(車窓) ———— 講早IC

——— 東そのぎIC ———— 佐世保メイン会場

——— (ハウススタンプス) 17:15 集合

旅行実施日と旅行代金

平成24年 **10月26日(金)**
10月28日(日)

●旅行代金 **5,500円** (大人おひとり様 子供同額)

●募集人員/各40名(最少催行人員:25名)
注) 募集人員が25名に満たない場合は旅行中止となります。

●申込金/2,000円(旅行代金に充当します。)

●申込締切日/平成24年9月25日(火)

●食事条件/昼食1回

●添乗員/同行いたします。

●貸切バスガイド付

旅行条件(要約) ※詳しい旅行条件を印刷した冊子をお渡ししますので、事前に二読の上、お読みください。

●旅行代金 5,500円(大人おひとり様 子供同額)

●申込金 2,000円(旅行代金に充当します。)

●申込締切日 平成24年9月25日(火)

●食事条件 昼食1回

●添乗員 同行いたします。

●貸切バスガイド付

旅行会社 農協観光

長崎支店 ☎095(820)2271

〒850-0862 長崎県五島市籠淵町1番20号

長崎県旅行業協会登録番号: 長崎 000000

《お問い合わせ》

**第10回全国和牛能力共進会長崎県大会
トラベルセンター**

〒850-0862 長崎県五島市籠淵町1番20号(長崎県農協会館3階)

☎ 095(895)7788
FAX 095(895)7787

知った一日でした。

うと再確認できました。

(紙漣 諒)

九月二十二日、五島市福江総合福祉保健センターで開催された「2012 GOTOふれあいまつり」に行ってきました。

女性部の皆さんによる五島三葉を使った惣菜の試食会をはじめ、食生活改善のコーナーや体力テストなどもあり、日頃いかに不健康な生活習慣であるか思い

普段から野菜を中心とした一汁一菜を心掛けていても、毎食徹底するのは難しいのが現状です。

手軽に弁当やお惣菜が手に入る現在、作家宮澤賢治の「雨にも負けず」のような「粗食」について、今一度見直す時かもしれません。

これからの栄養価の高い旬の野菜で、できるだけいろいろな料理を手作りしようとして再確認できました。

編集後記



産直市場
五島がうま

住所: 〒853-0041 五島市籠淵町2450-1
電話: 0959-88-9933
FAX: 0959-88-9922
営業時間: 9時～19時
※農家レストランは10時30分～15時(予約については別途)
※土日・祝日限定バイキング 11時～15時
料金 大人: 1,000円 子ども: 500円(小学生以下)
定休日: 毎月第1・第3月曜日(祝日の場合は営業、振替なし)

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する



株式会社JAごとう葬祭
斎場 **浄倫会館**

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955